

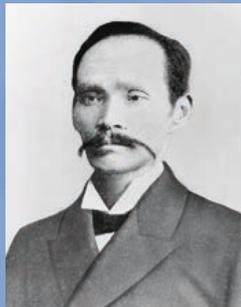
価値創造の軌跡

OKIは創業以来、「進取の精神」をもって、社会のニーズに応える先進的な商品・サービスを数多く送り出してきました。そしてこの先も、情報社会の発展に貢献する価値創造を通じて、人々の快適で豊かな明日を実現していきます。

Open up your dreams

OKIは夢の扉を開きます

1881年(明治14年)
沖牙太郎が明工舎を創業



明治初期、日本では郵便、電信、電話と、現代につながる情報通信のシステムが次々に実用化されていきました。この電気通信の黎明期に、牙太郎は電信・電話の将来性を認識し、その発展に尽力。電話がアメリカから持ち込まれた5年後には、日本初の国産電話機の開発に成功します。自らの技術と発想力で道を切り開いた、この牙太郎の「進取の精神」は脈々と受け継がれ、今日のOKIがあります。

1881
国産初の
電話機を開発

1930
自動交換機の
第一号機を中野局に納入

1963
600形電話機量産開始



1961
国産初のコアメモリを
使用したコンピューターを発売



1971
D10形電子交換機を
電電公社に納入



1953
テレタイプライターを発売



1902
国産初の磁石式並列複式交換機を
長崎局に納入



1976
デジタル式感熱ファクシミリ
[OKIFAX7100]を発表



1969
ミニコンピューター
[OKITAC®-4300]を発売



1981

世界初の
LEDプリンターを開発



1996

コンピューター・
テレフォニー統合システム
「CTstage®」を販売



1996

国内初のVoIPシステムを発売



1982

世界初の紙幣還流型
ATMを発売



2004

業界初のMicrosoft.NET対応
IPテレフォニーサーバーを発売



2005

リアルタイム
地震防災システムを開発

2008

業界初5年間無償保証の
「COREFIDO」シリーズを発売



2018

「光ファイバーセンサー
WX-1033A/B」を販売



2011

国内初のスマートコミュニティ向け
920MHz帯無線マルチホップ通信
システムを開発

2010

羽田空港国際線旅客ターミナルへ
情報KIOSK端末「SUKIT™」を納入

